

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	国際科学技術センター	担当部署	科学技術・学術政策局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度・なし	担当課室	科学技術・学術戦略官(国際担当)付	科学技術・学術戦略官(国際担当)	長野 裕子		
会計区分	一般会計	政策・施策名	科学技術・学術政策の総合的な推進 VII-4. 科学技術の国際活動の戦略的推進				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画、 国際科学技術センターを設立する協定 (平成4年11月27日署名)				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際的な知的公共財の創出や地球規模課題の解決に資する科学技術協力を国際機関への拠出を通じて行い、我が国の科学技術の戦略的推進を図ることを目的としている「国際機関への拠出等」のうち、国際科学技術センター(ISTC)は平成6年に日、米、EU、ロシアによって設立された国際機関であり、旧ソ連邦諸国の科学者等に平和活動に従事する機会を与えること、同諸国の市場経済移行を促進すること、また、同諸国のみならず地球規模課題の解決に寄与することを目的とする。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	日、米、EU、ロシアの4極により設立された国際科学技術センター(ISTC)において実施される地球規模問題研究の実施に必要な経費を拠出するもの。拠出された経費の中には、各国政府が支援するプロジェクト(レギュラープロジェクト)の実施やワークショップを実施するための経費等が含まれている。また、我が国の民間企業や政府関係機関が、ロシア・CIS諸国と共同研究を行えるパートナープロジェクトの推進に係る経費が含まれる。パートナープロジェクトにより、我が国の民間企業や政府関係機関はロシア・CIS諸国において、必要な物品の輸入手続きの支援や、税制面の優遇等を受けることができる。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	—	61	55	56	56
		補正予算	—	—	—	—	—
		繰越し等	—	—	—	—	—
		計	—	61	55	56	56
		執行額	—	61	55	—	—
	執行率(%)	—	100.0%	100.0%	—	—	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	<p>本事業は、旧ソ連邦諸国の科学者等に平和活動に従事する機会を与えること、同諸国の市場経済移行を促進すること、また、同諸国のみならず地球規模課題の解決に寄与することを目的としていることから、定量的な指標による評価になじまない。</p> <p>なお、本事業により拠出が行われているISTCの成果として、以下のものを挙げる事ができる。</p> <p>①設立以来、2,700以上のプロジェクトを実施。 ②これまでに、74,000人以上の研究者にグラントを付与。 ③ロシア・CIS諸国が持つ特色ある技術を活用し、農業、ライフサイエンス、環境、原子力、情報通信、材料、航空宇宙等の多様な分野で研究プロジェクトを実施。 ④約400の団体がパートナーとして登録。</p>		成果実績	—	—	—	—
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	<p>下記2指標を活動指標とした。 (この2指標で事業全体の活動実績を表わすことはできない。本事業は旧ソ連邦諸国の科学者等に平和活動に従事する機会を与えること、同諸国の市場経済移行を促進すること、また、同諸国のみならず地球規模課題の解決に寄与することを目的としているため、定量的な指標による評価になじまない。)</p>		活動実績(当初見込み)				—
	文部科学省が支援しているレギュラープロジェクト数		件	8	8	8	—
	文部科学省が支援しているワークショップ数		回	3 ※	2	2	—
			※()内は平成22年度「国際科学技術センターの地球規模問題研究」によるもの。				
単位当たりコスト	-	算出根拠 文部科学省の拠出金は、ISTCの各活動に使われるが、レギュラープロジェクト・ワークショップに対応するインプットの額を特定できないため、単位当たりコストは算出し難い。					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	国際科学技術センター拠出金	56百万円	56百万円				
	計	56百万円	56百万円				

事業所管部局による点検							
		項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、旧ソ連邦諸国の科学者等に平和活動に従事する機会を与えること、同諸国の市場経済移行を促進すること、また、同諸国のみならず地球規模問題の解決に寄与することを目的とする、ニーズの高い事業である。また、国際機関への拠出金であるため、国が実施すべき事業である。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○				
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	拠出された経費は、各国政府が支援するプロジェクト(レギュラープロジェクト)の実施やワークショップを実施するための経費、我が国の民間企業や政府関係機関がロシア・CIS諸国と共同研究を行うパートナープロジェクトの推進に係る経費、人件費、ISTCにおいて実施する研究に係る経費に限定されている。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○				
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-				
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-				
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本事業による成果は以下のとおり。 ①設立以来、2,700以上のプロジェクトを実施。 ②これまでに、74,000人以上の研究者にグラントを付与。 ③ロシア・CIS諸国が持つ特色ある技術を活用し、農業、ライフサイエンス、環境、原子力、情報通信、材料、航空宇宙等の多様な分野で研究プロジェクトを実施。 ④約400の団体がパートナーとして登録。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○				
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	当省は科学技術協力の観点からプロジェクト経費を主に拠出し、外務省はISTCの設立・運営に関わっている観点から主に事務局運営費を拠出している。			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名				
		国際科学技術センター(ISTC)拠出金	外務省				
点検 結果	<p>本事業は、旧ソ連邦諸国の科学者等に平和活動に従事する機会を与えること、同諸国の市場経済移行を促進すること、また、同諸国のみならず地球規模問題の解決に寄与することを目的とし、ISTCへ拠出を行っているところであり、本事業を通じて</p> <p>①設立以来、2,700以上のプロジェクトを実施。 ②これまでに、75,000人以上の研究者にグラントを付与。 ③ロシア・CIS諸国が持つ特色ある技術を活用し、農業、ライフサイエンス、環境、原子力、情報通信、材料、航空宇宙等の多様な分野で研究プロジェクトを実施。 ④約400の団体がパートナーとして登録。 など一定の成果があげられており、今後も事業を継続することが重要である。</p>						
外部有識者の所見							
外部有識者による点検対象外							
行政事業レビュー推進チームの所見							
現 状 通 り	<p>1. 事業評価の観点: 当該事業は、旧ソ連邦諸国の大量破壊兵器開発科学者等に平和活動に従事する機会を与えること等を目的とする、国際科学技術センター(ISTC)に対して拠出金を拠出する事業である。</p> <p>2. 所見: 当該事業は、国際科学技術センター(ISTC)に対して拠出金を拠出する事業であり、事業規模の適正化やコスト削減に留意しつつ、現在の事業内容を引き続き維持すべきである。</p>						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
現 状 通 り	我が国は、本協力枠組みへの参加に必要な貢献を行いながら、事業規模の適正化やコスト削減に留意し現在の事業内容を引き続き維持していく。						
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
	平成22年	0192	平成23年	0034	平成24年	0215	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省
55百万円

日、米、EU、ロシアの4極により設立された国際科学技術センター(ISTC)において実施される研究に必要な経費を拠出。



〔拠出〕

【A】国際科学技術センター(ISTC)
55百万円

各国政府が支援するプロジェクトの実施及び、日本及びロシア・CIS諸国の両国研究者の研究への関心醸成のためのワークショップ等を実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.国際科学技術センター(ISTC)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	レギュラープロジェクト等	55			
計		55	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際科学技術センター(ISTC)	地球規模問題研究のために、各国政府が支援するプロジェクト(レギュラープロジェクト)やワークショップ等を実施	55	-	-

※拠出金のため、入札者数および落札率は「-」としている。